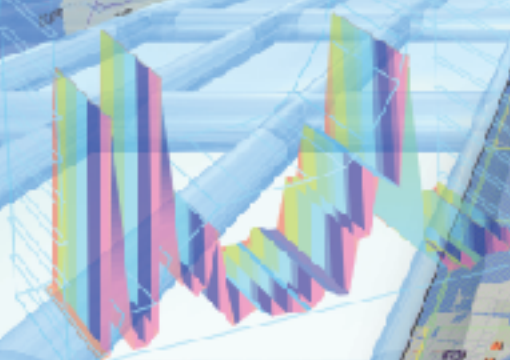


農地・農業用施設災害への挑戦

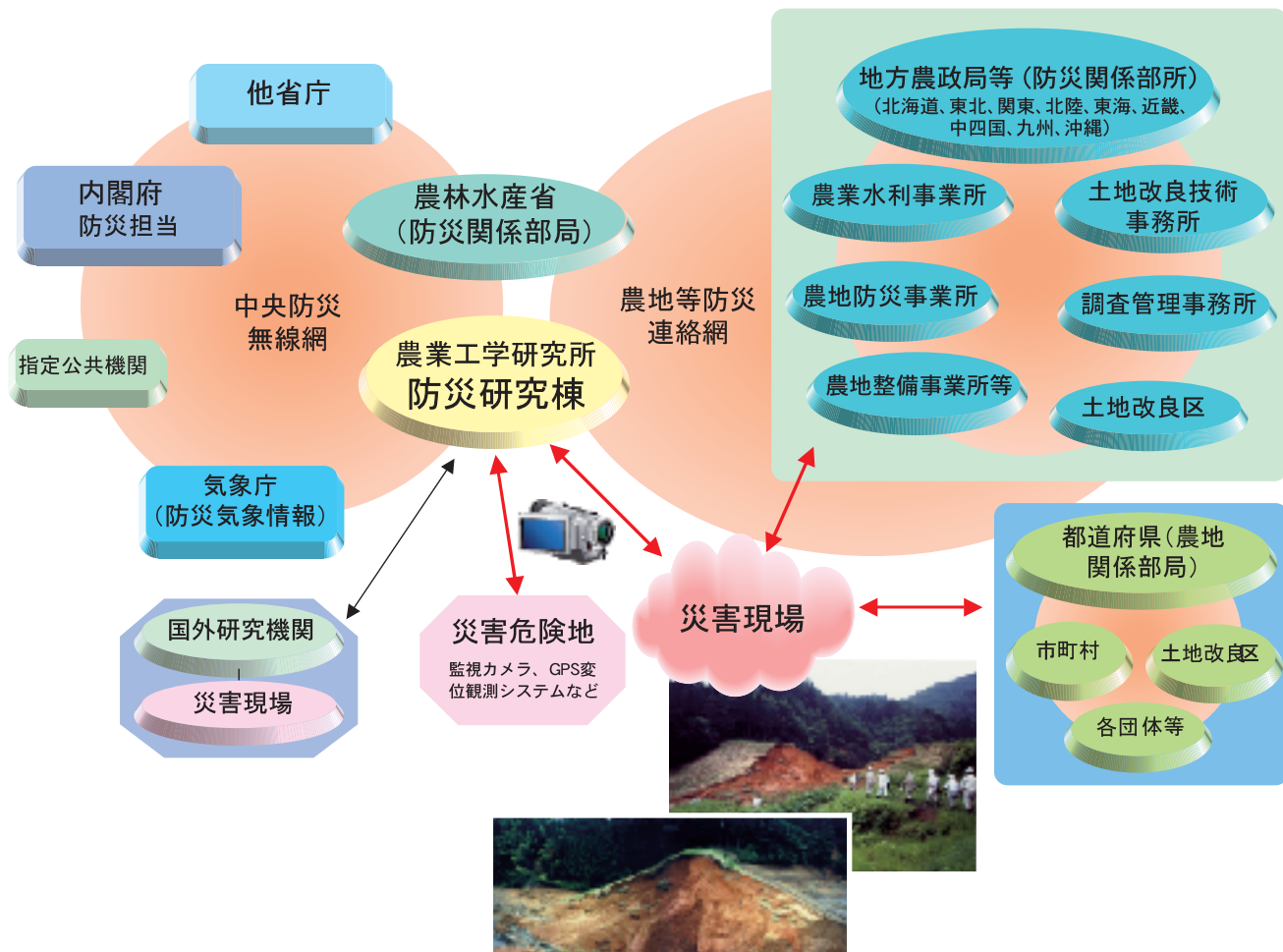
防災研究棟



独立行政法人 農業工学研究所

災害対策支援および防災研究ネットワーク

農業工学研究所は災害対策基本法に基づく指定公共機関として、内閣府の中央防災無線網の一翼を担います。防災研究棟を中心としたネットワークにより、農地・農業用施設の災害発生時に迅速かつ円滑に技術支援するとともに、防災研究の中核的役割を果たします。



施設概要

緊急防災対策室

災害発生時に、研究所内の専門家を集めて災害状況の分析、対策の検討を行い、被災地へ迅速・的確な技術的助言を行います。このため、一般の電話回線の他に、災害現場の情報収集を効率的に行うためのLAN等の諸設備を整備しています。

防災情報処理室

豪雨や大地震の発生と同時に、高い危険度を示すため池等を特定し、情報を正確で迅速に分析・提供する「ため池危険度評価システム」等を整備しています。また、地すべりの危険性のある斜面を常時監視する「防災カメラシステム」や「GPS変位観測システム」等を整備しています。

防災資料室

農林水産省がこれまで整備してきた全国のため池等農業用の水利施設に関する資料や地すべり等の土砂災害、豪雨災害、地震災害等の資料を所蔵しています。



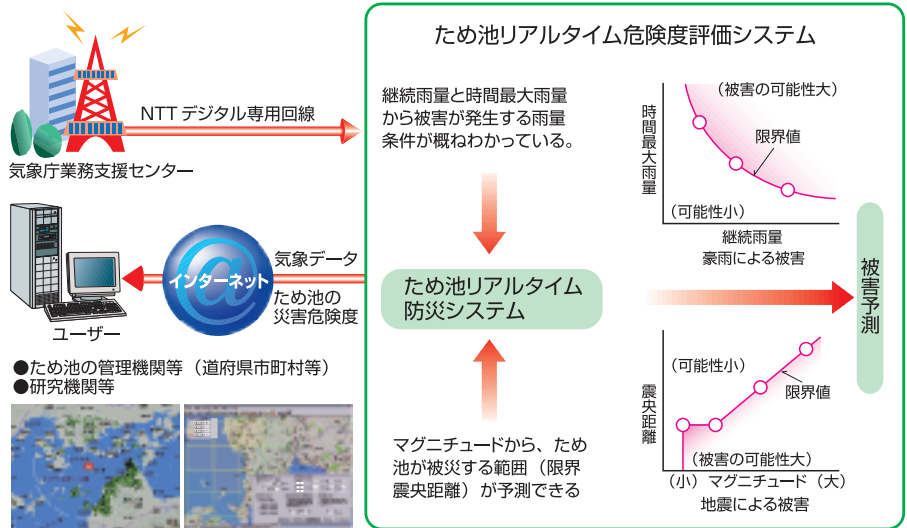
緊急防災対策室

防災研究に基づく災害対策支援システム

防災研究棟では、これまで防災研究で蓄積してきた各種のシステムを活用します。今後、これらのシステムをさらに発展させ、安全・安心な農村地域社会の構築に貢献します。

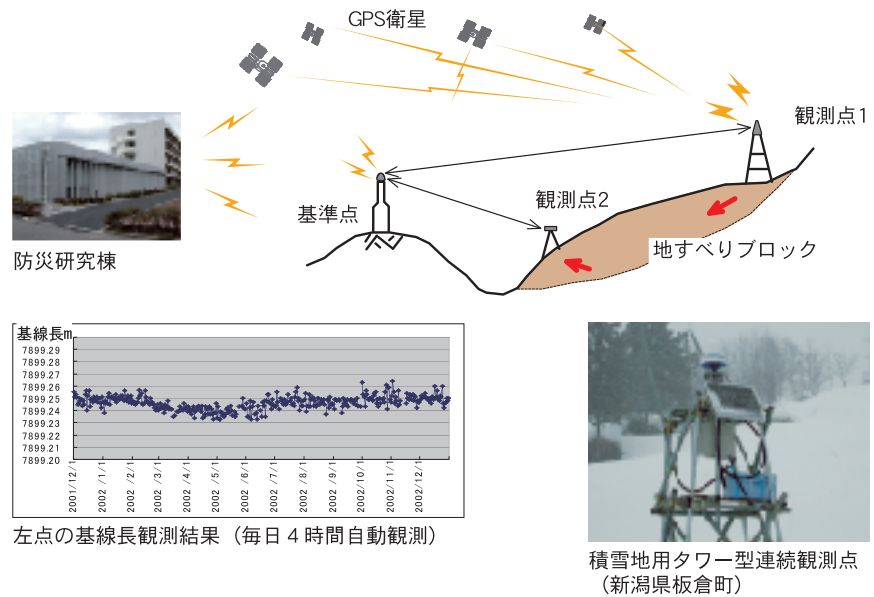
リアルタイム気象情報を利用したため池危険度評価システム

リアルタイムで取得した降雨、地震等の気象情報に基づいて全国各地のため池の災害危険度を予測し、リアルタイムでため池の管理機関に情報提供します。このシステムでは、これまでの防災研究により蓄積された降雨、地震の特性とため池災害との関係を利用して、分析し、予測します。



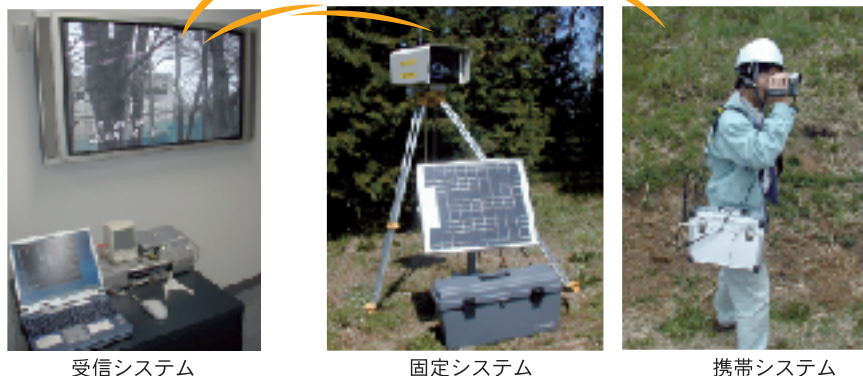
GPS変位観測システム

地すべり地域外に設置した基準点と、地すべり地域内に設置した複数の観測点との間でGPS測量を自動的に繰り返し行い、2点間の距離の変化から地すべり活動を高精度で監視します。連続モニタリングおよび遠隔操作が可能であり、高精度測位データは防災研究棟で分析し確認することができます。



防災カメラシステム

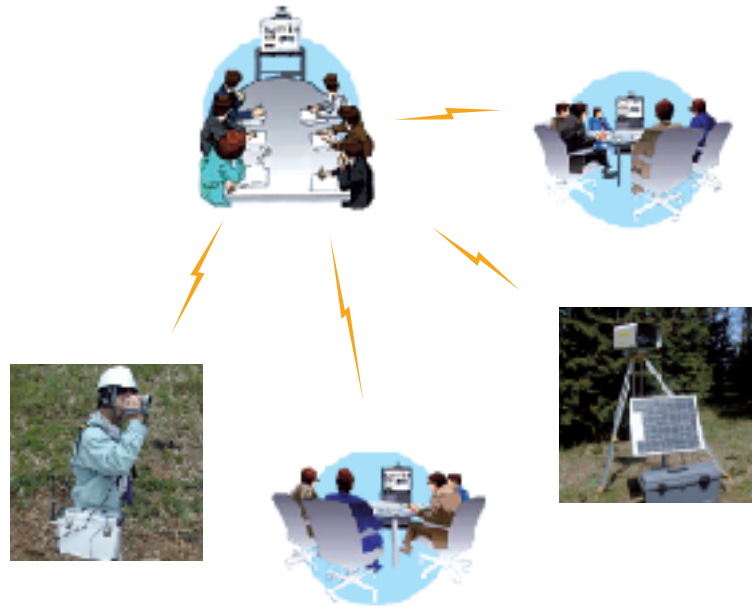
災害現場等の画像を防災研究棟にリアルタイムで伝えます。現場に設置して遠隔操作で撮影する固定システム、軽量化した携帯システム、本部受信システムから構成されています。



緊急災害対策会議システム

災害発生時に災害対策本部や災害現場とリアルタイムで情報交換が可能なテレビ会議システムを備えています。

また、平時には災害発生時の技術支援体制強化のため、国や地方公共団体などの災害対応に携わる技術者も含めた技術の研鑽・研修に使用します。



アクセス

●鉄道・バス：

JR常磐線牛久駅下車
関東鉄道バス牛久駅西口から
①つくばセンター行き
②谷田部車庫行き
③筑波大学病院行き
農業工学研究所前下車
(所要時間約25分)

●高速バス：

東京駅八重洲南口から
筑波山行き・農林団地中央下車
(所要時間1時間20分)

●自動車：

常磐自動車道谷田部ICから5分



問い合わせ

〒305-8609

茨城県つくば市観音台2丁目1-6 (独) 農業工学研究所

TEL : 029-838-8193 (防災研究調整官)

029-838-7534 (広域防災研究室)

FAX : 029-838-7609

URL : <http://www.nkk.affrc.go.jp>